

## 第30回 旧RD最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 令和元年9月13日（金）19：00～21：30

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑・ご意見

## 0. 旧RD最終処分場問題連絡協議会設置要綱の別表の改正について

○栗東市役所藤村副市長を第31回連絡協議会の構成員として追加することについて協議会です承され、設置要綱の別表を改正し次回の連絡協議会で配布する。

## 1. 前回の開催結果の確認について

意見なし

## 2. 工事等の進捗状況について

◇安定器は569個出てきて高濃度（PCB）のものもある。掘削していない他の場所にも有るのではないか。今後、容器が腐って溶出してきたら住民は不安である。

⇒掘削をしていない他の場所からも出てくる可能性はありますが、PCBについては過去のボーリング調査の結果、場外に流出していない事を確認しております。二次対策工事では遮水工や有害物掘削除去を行い、また工事後のモニタリングにより確認する、と回答しました。

◇有害物掘削除去工が11月に完了し対策工事も終わりが見えてきたが、これまで対策工事による支障や被害は無かったと考えてよいか。

⇒対策工事の実施中は地下水のモニタリングや周辺環境の常時監視を行っており、特に支障や被害は出ていないと考えている、と回答しました。

◇その回答（上記）を踏まえて、我々は有害物を掘削除去するよう求めたが、当時の部長や知事は二次被害をもたらすからできないと発言した。実際にやってみて二次被害が一切無いという矛盾をどう考えるか。

⇒多少は掘削による影響もありますので、そのことを考慮しての発言であったと考えている、と回答しました。

◇当時の県と知事は予算をオーバーする掘削工事をしたくなかったが、「予算は気にしなくてもいい」などと言った手前、「二次被害が出る」とおためごかしの説明をしたと考えられる。今でも当時の部長・知事の考えを支持するのか。

⇒あくまでもいろんな影響を受けると考えての発言であったと思う。現実的な考え方は同じである、と回答しました。

◇我々は県のそのような誤魔化しを怒り、住民と県の関係がこじれた。対策工事が始まった時に、もう嘘はつかない、これまでの対応は間違っていた、と県の反省を聞いたから我々は納得して工事をやってきた。ところがあれは正しかったと、時計の針を逆に戻すようなことを言うのか。

⇒決してそういう意味ではない。これまでの県の対応に様々な不備があったことへの

反省は十分承知しており、それを否定するものではない。今の時点で誠心誠意取り組んでいきたい。改めてきちんと精査してお話しさせていただく、と回答しました。

◇前からお願いしているが、工事の終了後に、処分場の状況だけでなく行政の対応も含めてこの事件を総括する必要があると思う。その際に今の発言を念頭において、しっかりと行政の対応がどうだったのか確認してもらいたい。

⇒その点はきちんと考えてお話しさせていただく、と回答しました。

### 3. 令和元年度第1回モニタリング調査結果について

◇H26-S2(2)の井戸のKs3層の電気伝導度は思ったより下がらないが、これは処分場の影響によるものか。または、それ以外の北尾団地周辺の影響によるものか。

⇒この井戸は敷地境界にあり、電気伝導度以外に1,4-ジオキサンとかほう素の項目が出ていることからみて、おそらく当時ここに第二処分場に埋まっていたものの影響がまだ残っていると考えている。また、Ks3層の水は北尾団地側からRD側の方へ流れており、尾根筋から下がった斜面の極めて短い断面（Ks3層が露頭しているところ）から入ってきており水の流れも遅く水が移動しないことからなかなか洗いだされていないと考えている、と回答しました。

### 4. 二次対策工事後のモニタリング調査計画について

◇調査頻度の設定例の説明があつたが、設定しているパターン以外の事が起きたら、5年以降も調査する予定か。また、10ページの評価方法について、4回の測定値を平均し基準値以下ならば調査をしないまたは減らすということか。

⇒5年以降についても確認が必要な場合は続けさせていただくことになると思う。また、測定値を平均することは有効性の確認や目標の達成状況の確認での評価に使用する考えで、調査回数減らし方については年平均ではなく個別の数字をもとに判断します、と回答しました。

◇調査頻度の設定方法について、年4回から減らした際の調査の時期はどのように考えているのか。大雨の降った後や有害物が出やすい時期に調査をしてもらいたい。

⇒同じ時期に年2回調査した方が関係性（井戸や物質の比較）から評価しやすいと考えており、このことについてはアドバイザーの先生にアドバイスを受け考えていきたい、と回答しました。

◇14ページの樋口委員の意見で、「採水3日前に降水がないことを確認し」とあるが、降水後のほうが有害物が出るように思うがどうか。

⇒降水によって希釈されると考えているが、この記述については樋口先生に確認します、と回答しました。

◇前回の確認で、まだはっきり返答してもらっていないが、国との関係上の調査や結果を国に上げることに 대해서는モニタリングの調査計画の範囲で十分だと思う。しかし二次対策工事の有効性や追加対策の必要性の確認としては今回のモニタリング調査計画では不十分であると考えている。追加対策が必要かどうか判断するときは、

もっとトータルな調査をしてもらいたい。上流部と下流部でどのくらい電気伝導度の差が出るのか、その先には有効な指標の一つとなるだろうと思うから、また違った形の調査をお願いしたいが検討しますということでしょうか。

⇒二次対策工事の有効性の確認は絶対評価を基本としておりますが、機械的に有効性の有無を結論づけることはせず様々な観点で評価をしたいと考えております。具体的には、そのバックグラウンドによる相対評価や一定期間の変動傾向による考察や基準に設定されていない一般項目の推移やいろんな観点で総合的に評価していきたいと思っております。このことについては全体的にアドバイザーの先生に助言をいただいて連絡協議会で協議させていただく考えをもっております、と回答しました。

#### 5. 当面の敷地管理について

◇栗東市さんの関わり方について教えてほしい。

⇒(栗東市) 維持管理については、今のところ県と協議をさせていただいておりませんが、栗東市内の土地でございますので、関わりについては滋賀県と十分協議していきたいと思っております、と回答しました。

#### 6. その他

意見なし。